

プロジェクト推進型起業実証支援 2022年度終了課題 評価結果

※所属機関・役職は研究開発期間終了時のもの

課題名	研究代表者	事業プロモーター	課題概要	総合評価
iPS細胞を原材料とした骨形成誘導補填材の開発	東北大学 大学院歯学研究科 教授 江草 宏	サナメディ 株式会社	iPS細胞由来の骨芽細胞塊を凍結乾燥したものを原材料とする骨補填材・人工骨の開発を行う。従来品に比べて高い骨形成能と吸収置換性を有する競合優位性の高い製品として、歯科・整形外科領域で事業化し、世界展開を目指す。	事業化を目指した研究開発および事業プロモーターによる支援の結果、成長するベンチャー設立の見込みが具体化し、次のフェーズに進んでいる。
革新的がん放射性治療薬の事業化に向けた技術開発	量子科学技術研究開発機構 量子生命・医学部門 量子医科学研究所 上席研究員 吉井 幸恵	バイオ・サイト・キャピタル株式会社	悪性脳腫瘍などの難治がんを、副作用少なく効果的に治療できる核種 ⁶⁴ Cuを用いた国産初の放射性治療薬を開発する。現在臨床試験中の本薬剤を事業化するために、放射性治療薬の製造販売に特化したベンチャーの設立を目指す。	事業化のための適切な研究開発および事業プロモーターによる優れた事業化活動が行われた結果、ベンチャー設立にとどまらず、その成長に大きな期待が持てる。
工業用ポリマーを基盤としたインクレス印刷技術の開発	京都大学 高等研究院 物質—細胞システム統合拠点 教授 イーサン・シバニア	日本戦略投資株式会社	ポリマーによる構造色を用いたインクレス印刷手法の技術シーズを活用し、高解像度かつユニークな色変化などを付与した偽造防止ラベル印刷技術を開発する。さらに、プラスチック包装向けインクレス印刷技術の開発によって、環境負荷軽減およびリサイクル向上に貢献するベンチャー設立を目指す。	成長が期待できるベンチャー設立には至らなかったが、事業化を目指した研究開発および事業プロモーターによる支援の結果、事業化に向けた進展が認められる。
ワンショット・ナノレベル表面形状測定機の事業化	兵庫県立大学 大学院工学研究科 特任教授 佐藤 邦弘	QBキャピタル合同会社	電子部品や機械部品などの表面凹凸や平坦度を、高分解能・大面積・ワンショットで測定可能な装置の開発を行う。スタンドアローン型装置の開発・製造・販売から、さらにインライン測定可能な装置の事業化を行うベンチャーの設立を目指す。	事業化のための適切な研究開発および事業プロモーターによる優れた事業化活動が行われた結果、ベンチャー設立にとどまらず、その成長に大きな期待が持てる。
籠型分子を用いた超高密度不揮発性メモリおよび超低消費電力AIチップの開発	広島大学 大学院先進理工系科学研究科 教授 西原 禎文	ユニバーサルマテリアルズインキュベーター株式会社	1ナノメートルサイズの1つの分子に情報を記録できる籠型分子を用いて、高速・高密度・低消費電力の不揮発性メモリを開発する。AI・ビッグデータ時代を支える革新的コンピューターの実現に貢献するベンチャー設立を目指す。	事業化を目指した研究開発および事業プロモーターによる支援の結果、成長するベンチャーの設立が具体化し、次のフェーズに進んでいる。
産業用ロボットの生産性向上を実現する球駆動式全方向移動装置技術の事業化	九州工業大学 大学院生命体工学研究科 准教授 宮本 弘之	株式会社 FFGベンチャービジネスパートナーズ	車輪の代わりに球を用いた移動自在な球駆動式全方向移動装置の開発を行う。ヒト協働ロボットや搬送ロボット・AGVなどを効率良く稼働させるための台車として、世界的にもユニークな産業用の全方向移動装置を製造・販売するベンチャーの創業を目指す。	事業化を目指した研究開発および事業プロモーターによる支援の結果、成長するベンチャーの設立が具体化し、次のフェーズに進んでいる。